

# 強度行動障害者支援の実践と移行型グループホームの開設について

障がい者地域生活・行動支援センターか～む

～ 特集 「第11回研究・実践成果発表会」 第1部 事業報告から ～

## 1 か～むが行う事業について

### 集中支援事業 定員：2名

- ・強度行動障がいの方を受入れ、集中的に支援を行い、行動の改善を図る事業です。
- ・定員2名、職員：利用者＝1：1の環境で支援を行います。
- ・障がい特性の理解と、記録や分析を基にした支援を実践し行動問題を軽減していくことで、生活の質（QOL）が向上することを目指しています。
- ・利用期間は原則3ヶ月です。
- ・集中支援終了後は、地域の事業所へ移行します。

### 移行型グループホーム事業 定員：7名

- ・集中支援事業の対象期間が終了しても、地域への移行が進まなかったときに利用となる事業です。
- ・集中支援事業での取組みを基に、利用者のさらなる安定化を図ります。
- ・6ヶ月～1年を目途に地域への完全移行を目指します。

集中支援

移行型  
グループホーム

地域移行

### 地域生活支援拠点等整備事業 （緊急一時事業） 定員：2名

- ・介護者の急病等、やむを得ない事象が起こったときに緊急一時保護するための事業です。
- ・利用に当たっては、事前登録をお願いしています。
- ・緊急事態発生当日～翌々日に利用受付を行います。
- ・最長1週間の利用となります。
- ・利用に当たっては、各区基幹相談支援センターが窓口となり、緊急対応コーディネーターと調整を行います。
- ・この事業は緊急時対応の最終的なセーフティーネットです。

## 2 設備について



【居室】  
利用者の特性や様子に合わせたセッティングを行います。

自傷がある方の居室。  
手作りで机や棚に段ボール加工して使用しています。



課題を入れる棚

終了ボックス



【浴室・トイレ】  
特性で水が気になる人の利用を想定した作りになっています。

給湯スイッチは事務室に設置し、一括管理

タンク上に手洗いが付いていないタイプのトイレを設置

床と壁は水洗い可能

